国際ロータリークラブ第2730地区　日南ロータリークラブ

週　　報

例会日　毎週水曜日　12：30～　例会場　ホテルシーズン日南

住所　　日南市園田3-11-1　TEL　0987-22-5151　FAX0987-22-9588　　会長　竹井崇利

水と衛生月間

第3195回例会	No.35	2019.03.20	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	18時30分	「それでこそロータリー」	
四　つ　の　テ　ス　ト	榎木田大資　君		
例　　会　　行　　事	観桜会（ホテル丸万）		

会長時間

桜は日本固有と思ってしまいますが、実は、桜は中国や朝鮮半島などアジア地域に多くの種類が分布している植物です。昨年４月に釜山に行きました。道沿いに大変多くの桜があり、大変きれいでした。

日本人は古くから桜を愛してきました。「桜」という言葉がはっきりと出てくるのは、奈良時代に編纂された「万葉集」です。当時の日本人は、桜の木を神聖なものと考えていたようです。その根拠となるのが「サクラ」という名前の由来です。まずサクラの「サ」という字ですが、これは「サ神」を表しており、田んぼの神様と言われています。次に「クラ」というのは、「台座」のことであり、桜の花が咲くということは、田んぼの神様が山から下りてこられたと考え、神様を迎えるために食物や酒をお供えしてお祝いしていました。また、奈良時代当時は花見と言えば「梅」であり、桜は神聖なものとされ、信仰の対象でした。

平安時代になり、８９４年に遣唐使が廃止され、日本人は改めて日本古来の文化に注目し始めるようになります。梅より桜の美しさに惹かれるようになります。貴族の間で花見が大人気になり、貴族たちはこぞって桜を植えるようになりました。鎌倉時代以降になると、貴族階級だけだった花見が、武士や一般層にも広がっていきます。安土桃山時代になると、花見の宴の規模がさらに拡大します。豊臣秀吉が主宰した吉野の花見会は５０００人が楽しんだといいます。江戸時代になると、徳川吉宗は浅草、飛鳥山などに桜の木を植え、庶民が花見を楽しむ場所を提供しました。このように、日本の花見は、単に鑑賞するだけでなく、桜の木の下に大勢が集まり、皆で飲食を共にすることは、世界で日本にしかないユニークな文化である。

日本人が桜を好きな理由

- 容姿の美しさ
  純潔、可憐、儚さを持ち合わせた、美しい女性の姿を印象付けます。
- 短命の美しさ
  桜の花びらが散るのは早い。「明日はどうなるかわからない」という生命の儚さが、私たちの心をくすぐり、花見へと駆り立てる。
- 春を待ち焦がれる感情
  寒さが厳しい冬の数か月は、寒さ故人の心も閉ざされる。そんな閉ざされた気持ちを溶かす春は、待ち焦がれた季節である。

むかしから桜は、諸行無常といった感覚にたとえられており、ぱっと咲き、さっと散る姿は儚い人生のようである。桜は日本精神に根ざしており影響力を持っているため、国花の代表例とされることがある。（正式には日本の国花はない。ただし、国花の代表例として桜と菊が使われることがある。）

例会行事　　観桜会

今年もホテル丸万にて、恒例の観桜会が開催されました。出席者が少なかったけど、とても楽しい観桜会でした。今回は、マジシャン榎木田のマジックはありませんでした。

会長の乾杯

今日は山口君 61 歳の誕生日　　次年度の〆　　みんなで、モッツァレラチーズ

送別会

磯上照男君、古里寿朗君の送別会が、3 月 25 日（月）18 時 30 分から、こうの寿司で行われました。

磯上照男君が 1 年 7 カ月、古里寿朗君が 1 年 10 か月、今回欠席でした坂元裕之君は 2 年 8 カ月の在籍でした。ご苦労様でした。これからも、ロータリーの友としてお付き合いをお願いしたいと思います。

出席率報告

報告都合により次回に致します。

事務局　〒887-0001　日南市油津 3-11-17　油津海友会館 2 階　TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515
会長：竹井崇利　　副会長：山口秀一　　幹事：井野畑善順　　雑誌会報広報委員長：河野通郎
雑誌会報広報委員会より　　原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jp まで送信してください。